
XamppとMySQL

CRUD (select文、update文、delete文)



時間目

select文

解説

select文は、テーブルに入っているデータを抽出（検索して取得）する為に使用するSQL文です。

select XXXX from テーブル名;

select文の決まり文句

抽出したい対象の
テーブル名を記述する。

抽出したい対象の
コラム名を記述する。
全てのコラムを対象とする場合は、*を記述する。

※ 「*」は、all（全て）という意味。

※ 複数のコラムを抽出対象とする場合は、カンマで区切る。

phpMyAdmin上で、select文でデータ抽出

① 「lesson01→addresslist」を選択し、「SQLをクリック。

Run SQL query/queries on table lesson01.addresslist:

```
1 SELECT * FROM `addresslist` WHERE 1
```

カラム

- user_id
- name
- mail
- tell
- prefecture

② 全てのデータを抽出する場合は、下記を入力。

```
select * from addresslist;
```

③ 「実行」をクリック。

[デリミタ ;] ☒ 実行したクエリをここに表示する ☐ クエリボックスを保持する ☐ Rollback when finished ☒ Enable foreign key checks

実行

抽出結果

表示 構造 SQL 検索 挿入 エクスポート インポート 特権 操作 その他

クエリボックスを表示

⚠ Current selection does not contain a unique column. Grid edit, checkbox, Edit, Copy and Delete features are not available. ?

✔ Showing rows 0 - 4 (5 total, Query took 0.0030 seconds.)

```
select * from addresslist
```

編集 EXPLAIN で確認 Create PHP code 再描画

☐ すべて表示 | 行数: 25 | Filter rows: Se

*(all)を指定したので、
全てのデータが抽出された

+ オプション

	user_id	name	mail	tell	prefecture
1	山田太郎	abcd123@yahoo.co.jp	03-0000-0000	東京	
2	佐藤花子	xyz777@yahoo.co.jp	073-0000-0000	神奈川	
3	田中浩史	hello888@yahoo.co.jp	045-0000-0000	静岡	
4	鈴木次郎	efg123@yahoo.co.jp	080-0000-0000	沖縄	
5	藤田三郎	cccc999@yahoo.co.jp	090-0000-0000	千葉	

phpMyAdmin上で、select文でデータ抽出

① 「lesson01→addresslist」を選択し、「SQLをクリック。

Run SQL query/queries on table lesson01.addresslist:

```
1 SELECT * FROM `addresslist` WHERE 1
```

クリア

この SQL をブックマークする。

[デリミタ ;] ☒ 実行したクエリをここに表示する ☐ クエリボックスを保持する ☐ Rollback when finished ☒ Enable foreign key checks

実行

カラム

- user_id
- name
- mail
- tell
- prefecture

② nameの列のみを抽出する場合は、下記を入力。

```
select name from addresslist;
```

③ 「実行」をクリック。

抽出結果

表示

構造

SQL

検索

挿入

エクスポート

インポート

特権

操作

その他

クエリボックスを表示

⚠ Current selection does not contain a unique column. Grid edit, checkbox, Edit, Copy and Delete features are not available. ?

✔ Showing rows 0 - 4 (5 total, Query took 0.0028 seconds.)

```
select name from addresslist
```

[Edit inline] [編集] [EXPLAIN で確認] [Create PHP code] [再描画]

☐ すべて表示 | 行数: 25 ▼ | Filter rows:

+ オプション

name

山田太郎

佐藤花子

田中浩史

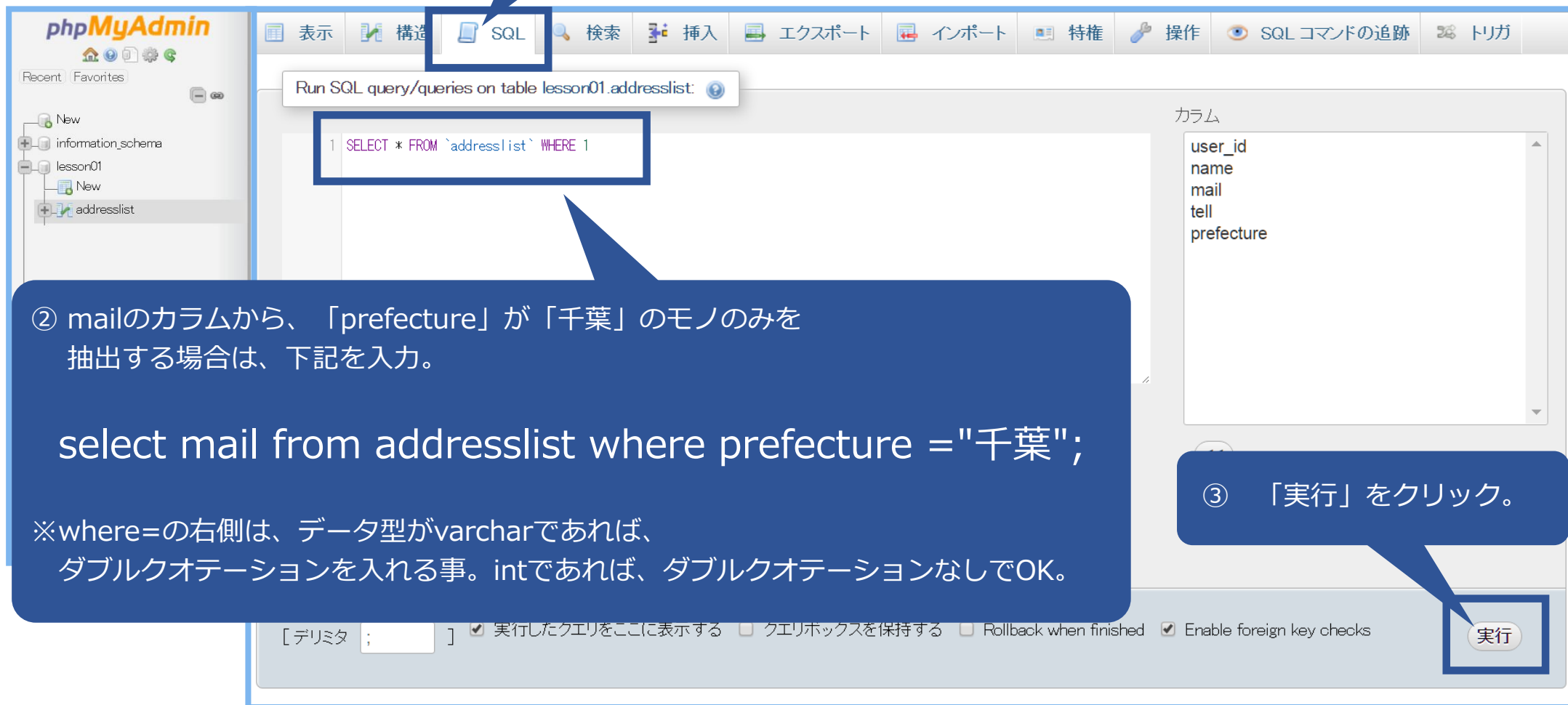
鈴木次郎

藤田三郎

指定したカラム (name)のみが抽出された

phpMyAdmin上で、select文でデータ抽出

① 「lesson01→addresslist」を選択し、
「SQLをクリック。



② mailのカラムから、「prefecture」が「千葉」のモノのみを
抽出する場合は、下記を入力。

```
select mail from addresslist where prefecture ="千葉";
```

※where=の右側は、データ型がvarcharであれば、
ダブルクォテーションを入れる事。intであれば、ダブルクォテーションなしでOK。

③ 「実行」をクリック。

[デリミタ ;] ☒ 実行したクエリをここに表示する ☐ クエリボックスを保持する ☐ Rollback when finished ☒ Enable foreign key checks

実行

抽出結果

表示

構造

SQL

検索

挿入

エクスポート

インポート

特権

操作

その他

クエリボックスを表示

⚠ Current selection does not contain a unique column. Grid edit, checkbox, Edit, Copy and Delete features are not available. ?

✔ Showing rows 0 - 0 (1 total, Query took 0.0032 seconds.)

```
select mail from addresslist where prefecture = "千葉"
```

☐ すべて表示 | 行数:

mail
cccc999@yahoo.co.jp

PLAIN で確認] [Create PHP code] [再描画]

mailのカラムのみが指定され抽出され、
さらに、その中から「prefecture」が「千葉」のモノだけ抽出された。
※対象データが複数あれば、複数表示される。

phpMyAdmin上で、select文でデータ抽出

① 「lesson01→addresslist」を選択し、「SQLをクリック。

Run SQL query/queries on table lesson01.addresslist:

```
1 SELECT * FROM `addresslist` WHERE 1
```

カラム

- user_id
- name
- mail
- tell
- prefecture

② nameのカラムから、「user_id」が「3」のモノのみを抽出する場合は、下記を入力。

```
select name from addresslist where user_id=3;
```

この SQL をブックマークする。

[デリミタ] ☒ 実行したクエリをここに表示する ☐ クエリボックスを保持する ☐ Rollback when finished ☒ Enable foreign key checks

③ 「実行」をクリック。

実行

抽出結果

表示

構造

SQL

検索

挿入

エクスポート

インポート

特権

操作

その他

クエリボックスを表示

⚠ Current selection does not contain a unique column. Grid edit, checkbox, Edit, Copy and Delete features are not available. ?

✔ Showing rows 0 - 0 (1 total, Query took 0.0030 seconds.)

```
select name from addresslist where user_id=3
```

[Edit inline] [編集] [EXPLAIN で確認] [Create PHP code] [再描画]

☐ すべて表示

nameのラムの中から、
「user_id」が「3」のモノだけ抽出された。

+ オプション

name

田中浩史

where句に使用できる演算子

whereの部分には、= 以外にも様々な演算子を使用できます。

演算子	説明
=	等しい
>	大きい
<	小さい
>=	大きい、もしくは等しい
<=	小さい、もしくは等しい
!= <>	等しくない
AND	2つの条件を結合し、両方の条件が真
OR	2つの条件のうち、どちらか一方が真
NOT	式の結果を反転
BETWEEN a AND b	対象のフィールドが a と b の範囲内
LIKE	対象のフィールドがパターンに一致

where句と演算子の組み合わせ例

where句と演算子の組み合わせると、例えば下記の様に、SQL文を書くことが可能です。

SQL文	説明
<code>select name from addresslist where user_id>2;</code>	nameのカラムの中から、user_idが2より大きいモノだけ取得。
<code>select name from addresslist where name !="山田太郎";</code>	nameのカラムの中から、山田太郎以外のモノだけ取得。
<code>select name from addresslist where user_id =1 AND prefecture="埼玉";</code>	nameのカラムの中から、user_idが1かつprefectureが埼玉になるモノを取得。 ※「and検索」と同じ。
<code>select name from addresslist where user_id =1 OR user_id=3;</code>	nameのカラムの中から、user_idが1、又はuser_idが3になるモノを取得。 ※「or検索」と同じ。
<code>select mail from addresslist where user_id between 1 and 4;</code>	mailのカラムの中から、user_idが1～4の間までのモノを取得。
<code>select name from addresslist where mail like "%yahoo%";</code>	nameのカラムの中から、mail内に「yahoo」の文字が入っているモノを取得。 ※「部分一致検索」と同じ。

update文

解説

update文は、テーブルに入っているデータを上書きして更新する為に使用するSQL文です。

update テーブル名 set カラム名 = “○○○”

select文の決まり文句

更新したい対象の
テーブル名を記述する。

更新したい対象のカラム名を記述する。
全てのカラムを対象とする場合は、*を記述する。

※ データを指定する場合は、上記の後ろに
where カラム名 = ●●●; とする。

補足

where句を入れないと、対象カラムの全てが上書き更新されてしまうので注意が必要です。

phpMyAdmin上で、update文でデータの上書き更新

- ① 「lesson01→addresslist」を選択し、「SQLをクリック。

Run SQL query/queries on table lesson01.addresslist:

```
1 SELECT * FROM `addresslist` WHERE 1
```

カラム

- user_id
- name
- mail
- tell
- prefecture

② 「user_id」が「3」のprefectureのデータのみを「埼玉」に上書き更新したい場合は下記を入力。

```
update addresslist set prefecture = "埼玉" where user_id = 1;
```

この SQL をブックマークする。

[デリミタ ;] ☒ 実行したクエリをここに表示する ☐ クエリボックスを保持する ☐ Rollback when finished ☒ Enable foreign key checks

③ 「実行」をクリック。

実行

上書き更新結果

表示 構造 SQL 検索 挿入 エクスポート インポート 特権 操作 ▼ その他

⚠ Current selection does not contain a unique column. Grid edit, checkbox, Edit, Copy and Delete features are not available. ⓘ

✓ Showing rows 0 - 4 (5 total, Query took 0.0029 seconds.)

```
SELECT * FROM `addresslist`
```

[\[Edit inline \]](#) [\[編集 \]](#) [\[EXPLAIN で確認 \]](#) [\[Create PHP code \]](#) [\[再描画 \]](#)

☐ すべて表示 | 行数: 25 ▼ Filter rows: Sea

+ オプション

	user_id	name	mail	tell	prefecture
1	山田太郎	abcd123@yahoo.co.jp	03-0000-0000	埼玉	
2	佐藤花子	xyz777@yahoo.co.jp	073-0000-0000	神奈川	
3	田中浩史	hello888@yahoo.co.jp	045-0000-0000	静岡	
4	鈴木次郎	efg123@yahoo.co.jp	080-0000-0000	沖縄	
5	藤田三郎	cccc999@yahoo.co.jp	090-0000-0000	千葉	

元々、「東京」だったモノが
「埼玉」に更新された。

delete文

解説

delete文は、テーブルに入っているデータを削除する為に使用するSQL文です。

delete from テーブル名

select文の決まり文句

削除したい対象のテーブル名を記述する。

※ データを指定する場合は、上記の後ろに
where カラム名 = ●●●; とする。

補足

where句を入れないと、対象カラムの全てが上書き更新されてしまうので注意が必要です。

phpMyAdmin上で、delete文でデータを削除

① 「lesson01→addresslist」を選択し、
「SQLをクリック。

Run SQL query/queries on table lesson01.addresslist:

```
1 SELECT * FROM `addresslist` WHERE 1
```

カラム

- user_id
- name
- mail
- tell
- prefecture

② 「user_id」が「3」のデータのみを削除したい場合は、
下記を入力。

```
delete from addresslist where user_id = 3;
```

③ 「実行」をクリック。

[デリミタ ;] ☒ 実行したクエリをここに表示する ☐ クエリボックスを保持する ☐ Rollback when finished ☒ Enable foreign key checks

実行

データの削除結果

表示 構造 SQL 検索 挿入 エクスポート インポート 特権 操作 その他

⚠ Current selection does not contain a unique column. Grid edit, checkbox, Edit, Copy and Delete features are not available.

✓ Showing rows 0 - 3 (4 total, Query took 0.0028 seconds.)

```
SELECT * FROM `addressList`
```

[Edit inline] [編集] [EXPLAIN で確認] [Create PHP code] [再描画]

☐ すべて表示 | 行数: 25 ▼ | Filter rows: Search this table

+ オプション

user_id	name	mail	tell	prefecture
1	山田太郎	abcd123@yahoo.co.jp	03-0000-0000	埼玉
2	佐藤花子	xyz777@yahoo.co.jp	073-0000-0000	神奈川県
3	田中健一	123456789@yahoo.co.jp	03-0000-0000	東京都
4	鈴木次郎	erg123@yahoo.co.jp	080-0000-0000	沖縄
5	藤田三郎	cccc999@yahoo.co.jp	090-0000-0000	千葉

「user_id」が「3」のデータが削除された。